

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしのごアルファ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 14日		～ 2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 14日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	状況に応じた活動の展開が行えること	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の活動がマンネリ化しない様にミーティングや1日の振り返りを行う時間を設け、改善点や工夫出来る点、活動していた児童の様子を共有し合う事で職員それぞれが固定観念に捉われない対応を行っていけるようにしています。</li> <li>当日の児童の行動、言動の様子等から集団を分けて活動を展開する事、気になる点を活動内容に組み込みながら活動を行えるようにしています。</li> </ul>	保護者より学校の様子や日々の様子を共有いただく事を通して、各児童個別の課題に取り組むだけでなく、全体的な課題点を振り起こし、状況に応じた活動展開の幅を広げる事に繋がっていきます。
2	幅広い年齢層と交流する機会を設けていること	各姉妹教室まで比較的近い立地を生かし、相互に交流する機会に繋がっています。幅広い年齢層と交流する事を通して、児童自身が成長を実感する事や、今後の見通し(園から小学校、小学校低、中、高学年等)を立てる機会を設けています。	交流を設けた際に各教室振り返りや情報共有を行う事で、次回以降の交流をより良いものにする為の創意工夫を積極的に行っていきます。
3	保護者対応時やサービス提供記録の公開、モニタリング等で児童の成長や保護者とのやり取りに努めていること	利用時の様子を保護者へ共有するだけではなく、どういった状況がご家庭や学校等において反映されるのか、課題となるのかを分かりやすい表現で伝える事に努めています。又、保護者視点の情報も積極的に提供していただけるよう、意識的に日々の様子をうかがう事にも努めています。	引き続きの課題がうかがえた際に、相談支援も積極的に提案する事でよりきめ細やかな支援に繋がっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの安全確保に関して、家族と連携および周知	各マニュアルを策定し定期的な避難訓練も実施しているが、保護者を交えての安全確保に関する具体的な連携や周知を実施するには至っていない為。	年度毎に更新する引き渡しカードお渡しの場面や、定期的な避難訓練実施時の振り返り(HUGでの周知や個別の保護者対応時など)時を活用し、安全確保の周知に繋がっていきます。
2	家族の対応力の向上を目的とした家族支援プログラムの実施	保護者対応時を活用し個別に支援提案を行う事はあるが、保護者からの情報共有により共通した課題点、困り感が窺えるケースもある中で、ペアレントトレーニングや支援プログラムを企画し提供するには至っていない為。	環境の変化が大きい時期を軸とし(新学期、長期休暇明け、進級時等)、想定される課題に対してプログラムを企画する事や、HUGを利用し対応方法の提案を行っていきます。
3	「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」等、支援の拡大を図る	家族支援、移行支援、地域支援・地域連携は以前から取り組まなければならない内容であったが、各支援や連携を密に行う事や、より具体的な内容での取り組みが難しかったと考える為。	児童の課題や成長段階に応じて支援の方向性を具体的にしていき、それぞれの支援内容と保護者ニーズのすり合わせを行いながら、持続可能な支援の形を試行錯誤していきます。